

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年4月7日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	趙 軍
研究課題	大陸浪人と日中戦争に関する基礎的研究 ——参謀本部の馬賊調査と馬賊戦略を中心として——				
研究キーワード	大陸浪人, 日中戦争, 参謀本部, 馬賊, 馬賊戦略	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	16.平和と公正をすべての人に	1.貧困をなくそう	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>今年度は、「馬賊」の活躍した舞台である「旧満洲」地域を中心に日本語と中国語資料の収集と分析・批判を行い、とりわけ関連する第一次史料の蒐集・整理に力を入れ、そしてすでに入手した関連資料のデータベースの蓄積とデジタル化の作業を始めた。その結果、参謀本部の馬賊調査と馬賊戦略を中心として歴史の史実を調査し、これまで学界にあまり注目されていなかった当該分野の資料調査と史実分析に初歩的な展開が実現できた</p> <p>【論文（査読あり）】 特になし。</p> <p>【著書・論文（査読なし）】 著書①（共著）：（執筆者：酒井順一郎、趙軍ほか）『全地球時代からの人文主義 歴史、文学、植民地教育史研究の還流 田中寛教授古稀・退職記念論集』『新世紀人文学論究』第4号特別記念号、新世紀人文学研究会事務局発行、2021年3月</p> <p>著書②（単著）：今年度の研究成果はすでに単著学術著書である『日本大陸浪人と日中戦争』（中国・江蘇人民出版社より2022年5月刊行予定）の一部（第四章第二節、第五章第二節など）になっている。中国側の編集委員会メンバーによる査読とオリジナリティ・チェックがある。また、日本語による研究発表も準備している。</p> <p>【学会発表等】 ①題目：「梅屋庄吉の中国革命支援に関する若干の考察」 学会名：中村弥六研究会・科研費研究プロジェクト「グローバル・ヒストリーの中のアジア主義者・中村彌六一未公開資料に基づく基礎的研究」共催「中村弥六研究会2021年10月例会」（オンライン式、10月22日）</p> <p>②題目：「従同床異夢至異床異夢——大亜洲主義在近代中国的傳播、變異與改造、對抗」（中国語） 学会名：中国社会科学院主催、中国史学会・湖北省社会科学会聯合会ほか共催「記念辛亥革命110周年国際シンポジウム」（中国・武漢、オンライン参加）2021年11月27日</p> <p>③題目：中山艦博物館と武昌市内の革命関連史跡 学会名：南山大学アジア太平洋研究センター・武漢史研究会共催「武漢史研究会第二回勉強会」、2021年12月4日</p>					

④本研究の研究成果は現在「日本参謀本部の馬賊調査と馬賊戦略」をテーマとして2022年5月28～29日に中国の武漢で行われる「章開沅先生の学術と思想国際シンポジウム」にて研究発表を予定している。この国際シンポジウムはコロナ禍の影響でハイブリッド式で開催され、研究担当者は日本からオンライン式で参加する予定である。

3. 主な経費

コロナ禍の影響で、中国現地への研究調査と日本国内の資料調査が実施できなかったため、主に資料の購入と電子版資料の活用に経費を運用していた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

本研究の内容を含む著書の原稿は、中国側の編集委員会メンバーによる匿名査読者から「優秀な著述」としての評価を得ている。